

6月の行事予定

日	曜	行事名等
11	土	円ブルーシー（海岸清掃活動）
16	木	避難訓練（地震・津波対応）
18	土	第2回子ども博物学士講座
28	火	町学力水準向上推進大会
29	水	水泳学習発表会 全校PTA

町教委学校訪問



碓山教育長はじめ教育委員、事務局長、指導主事等6名による学校訪問がありました。学校運営上の課題を説明し、施設や授業を参観していただきました。複式の学習を初めて見た訪問者からは職員の方の多忙さを気遣う感想がありました。ご指導やご助言を今後の学校経営に生かしたいと思っております。



梅雨時です。長雨がが続いています。傘を差しての登下校は視界がさまたげられとても危険です。行き交う自動車や歩行者に気を付けましょう。また寒暖差のある時期、規則正しい生活を心がけましょう。

1年生の存在



「おはようございます！」虎汰朗さんと力冬さんの元気なあいさつが聞こえます。入学式のとくとは別人のように学校生活を楽しんでいます。朝の体力づくりやボランティア活動、国語や算数の学習など、あらゆる場面で驚きや発見があり、日に日に成長しているようすがうかがえます。時として、私たちは1年生を「モンスター」と呼ぶことがあります。大人の予想をはるかに超える言動が多いからでしょうか。以前、勤務していた小学校でこんなことがありました。昼休みが終わり、授業参観が始まろうとしていたときのこと。ある1年男児が両手に大切にハンカチを持っていました。中を見るとカエルの卵。「家で飼っている鯉のエサにする」つもりだったらしいです。触るのもためらうカエルの卵をハンカチに入れて持って帰ろうなんて…。その発想には驚かされるばかりです。ふと、幼少期の長男を思い出します。一人歩きを始めた頃から「ダンゴムシ」をいたく気に入り、しばしば大小さまざまなダンゴムシでポケットをいっぱい膨らませていました。

子どもの興味関心は多種多様。視覚や聴覚、触覚など個が受ける刺激が異なるということなのでしょう。何かに夢中になることで思考や表現も豊かになります。個性として大切にあげたい。そう考えると、卵を持ち帰ろうとした男児をむげに叱ることはできません。そこに「指導する」ことの難しさを感じます。本校2年ぶりの1年生、彼らが成功体験や失敗体験、不自由体験を重ねながらすくすく成長することを願うとともに、「1年生の存在」が他の子どもたちによい影響を及ぼすことを期待しています。

こつこつと…



朝の体力づくり、今年は職員が練習の場を工夫して、レベルに応じた練習をしています。年度当初から運動会を見据えた取組を行っています。1年生は補助具を使った練習からです。「努力は人を裏切らない」といいます。運動会当日の演技が楽しみです。



郷土を学ぶ



郷土学習の一環として八月踊りと六調を始めました。初日は柿園幸太郎さんを講師としてお招きして、ちぢんを練習しました。単調なリズムですが、不慣れな子どもたちはかなり苦労していました。今後は唄や三味線の練習も続けます。